

創立 100 周年記念

第56回 六甲全山縦走大会を終えて

大会実行委員会 林 洋治

当会創立100周年記念の大会でもあり過去の諸先輩方の全山縦走に懸けてこられた想いを馳せながら計画し、実施した。大会は2分割コース(JR塩屋駅から新神戸駅、新神戸駅から宝塚)そして全山縦走コース(塩屋駅から宝塚塩尾寺下)の3回に分けて実施した。

この2年間、新型コロナの猛威に山行もその都度振り回されて来た。2回目のワクチン接種もほぼ浸透し、コロナ禍も終息しつつある矢先、またまたオミクロン株が新たな火種を起こしたらしいぞというそんな時期。

第1回目1月30日、JR塩屋駅から新神戸駅)

天候は曇り時々晴れ、気温 7~10℃とこの時期としては絶好の山行日和。参加予定者は60名ほどだったがオミクロン株を懸念された方もあり、会員を含めて46名。



塩屋駅前にての朝礼風景

密にならないよう3班(前後を会員誘導)に分けての山行とする。朝礼を終え出発が8:15分。私の班は、一般の方々、京都、福山の方も参加していただいた。それに女性の方が大半だったが、健脚揃いで予定していた通過時間通りにスムーズに進行できた。

横尾山
山頂にて



須磨アルプスもラクラク通過

横尾山・東山の次はヒヨコ独自難コースの禅昌寺尾根と続くのだが三木街道の拡幅工事で今年

は市の縦走路から高取山。高取着が丁度お昼ごろ。ここで参加者に好評をいただいている熱々の餡まんとはットレをいただく。



お腹いっぱいになったところで今回の難所、菊水山・鍋蓋山の登りへ。今回参加者の最年少 Y さんも気合十分!! 後ろのベテラン連も負けてられません。



難関の
菊水山登頂

やっと登った菊水山で息つく暇もなく下る。次が今回西半縦の最後の登り鍋蓋山。



鍋についたぞ～！！
爽やかな風が吹き抜ける鍋。もう登らなくてもいいんです。



今回のゴールは、鍋蓋山から下りた大龍寺、全員無事に 15 時 45 分頃着。天候に恵まれ心地よい山歩きが出来ました。ゴールして解散となったが、新神戸まで道不案内の人がありは新神戸まで同行した。

半縦走申込者数 48名
参加者数 40名
完走者数 36名

第2回(2月27日、新神戸駅から宝塚塩尾寺下広場)

新神戸駅に集合、この日の天気も前回同様絶好に山歩き日和。今回の参加者は、46名。新神戸駅広場で朝礼を行った後、前回と同じく3班に分かれて出発。



新神戸駅での朝礼風景

新神戸から布引貯水池を越え、市ヶ原～稲妻坂～天狗道。全縦だと前半戦の疲れのピークで、稲妻坂・天狗道はへとへとになるころだが、今日はスタートしたばかりでまだまだ皆さん元気、摩耶

掬星台着(10:30分)。この辺りまでは、天気も良くルンルン気分。ドライブウェイの三国ヶ池下あたりに来ると道端に残雪が見られるようになった。一週間ほど前、寒波があったのでその時の雪だろうか。初めは物珍しくカメラに収めていた。記念碑台



にお昼前着。ここが今回のエイドステーションでホットレモンとたまごパンをいただいた。併せて長めの休憩をとり、昼食タイムとした。



六甲開発の祖
グループさんの像前で！

この後、六甲山小学校を過ぎるところから歩道に雪が残りはじめ歩行に難渋しました。

この時期の六甲山にはアイゼンが必携なんだなと改めて痛感。参加者の皆さんへ必需品アイゼンを注意喚起しておけばご迷惑をかけずにすんだのにな～と。反省！次回から気



を付けます。転んだ方も見受けられましたが、怪我もなく通過できたのは良かったです。

一軒茶屋の
レストハウ
スが新築さ
れ六甲の山
歩きが楽し
くなった



一軒茶屋までは残雪で難渋したが、その後はスムーズに歩けた。一軒茶屋 12:45 分、分岐 12:55 分、大平山 15:02 分通過。ゴール着は予定より 30 分も早く 16:25 分着。その後各班も続々着。



参加者、皆さ
んの笑顔が
弾けていま
す。
ゴールでは、



完踏された
皆さんに賞
の神戸スイ
ーツを。

出発点の塩屋からゴールの宝塚まで血と汗の結晶。あの山・あの谷を歩いた足跡は、何時までも記憶に残ることでしょう！！

東半縦走の参加者数 40名
完走者数 36名

第3回（3月26日、全縦大会

塩屋駅から宝塚塩尾寺下広場）

今日は総括の全山縦走大会というのに朝から気持ちが晴れません！！というのも今日の天気予報は雨、それに午後からは酷くなるらしい。

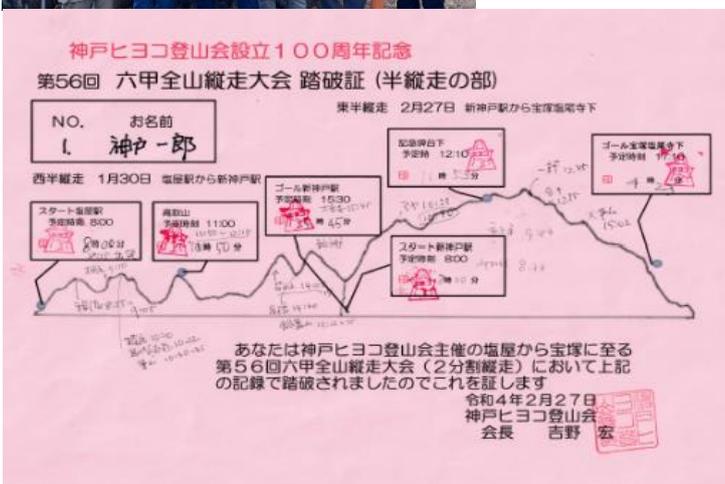


今回の全縦は、班別でなく個人行動での山行としているので6時前後各自が出発。私は同行する人があり5名ほどのグループで向かう。

雨の降りだすまでは、梅尾山への350段の階段、須磨アルプスもほとんど人影もなく快調に！



案の定、高取山に向かう途中9時ごろから小雨が降り出した。昨年は、コロナ禍の心配が



今回の踏破証

ら会員だけの参加で東半縦走と、全縦を同日開催した。3月20日だったのだがやっぱり雨だった。その時は、記念碑台あたりから降り出した。この時も午後は雨脚が酷くなる予報午前中で中止となった。どうも全縦は雨に祟られているのかな？高取山 安井茶屋のチェックポイント&エイドステーション。いつもは青空の下、熱々のあんまん、ホットレモンを用意していただいているのだが



訪れる人も少なくちょっと寂しげな風景

この時点で午後の空模様を勘案し、全縦の大会だが太龍寺赤門までで終了とすることを決定。



雨中の強行突破？

誰もいない菊水山を我が隊員は三々五々駆け抜けて行く！！雨の日の山歩きって、ほんと何を楽しめばいいのだろうと。。。。。



鍋蓋山から雲間に煙る菊水山、須磨の山々を振り返る。何かしらアリバイ作りみたいな記事になってしまいました。



今回のゴール地点赤門

赤門着が12:40分。雨の降り方もまだそんなに強くなかったので、同行の参加者2名の方がもう少し行きたいとのことで同行する。



稲妻坂、天狗道も誰ともすれ違わず。無人の荒野に行くがごと！たまにはこんにちわとかお疲れさんとか声を掛けたくなる。ほとんど押し黙ったままで摩耶掬星台着 15:00時。

掬星台もご覧のようにひとりっ子いない。雨も強くなったし、ここで下りましょうかと青谷道へ。お疲れ様でした！！

全山縦走申込者数	34名
参加者数	22名
完走者数	20名(太龍寺迄)

アンケート回収結果

今後の大会への参考とすべくアンケートを行った。全縦、半縦とも行う予定だったが全縦は雨天だったためアンケートを行わず。半縦のみの結果です。会員、会員以外とも10名、計20名の意見です。

① 大会の日時設定について

- ・適切であった。不参加の方の中には非常事態宣言中であることから勤務先から敬遠するようにとの指示もあったようです。

② 企画・運営について

- ・適切であった。特に班分けしての少人数での行動が良かった。また、小人数であることから連帯感も生まれ行動がまとまっていた。
- ・隊列歩行については、安心・安全で楽しかった。一人ではなかなかいけない。
- ・多くのスタッフ支えられて心強かった。
- ・3分割も行ったらとの意見もあったが、日時やスタッフが揃えば行えるのだが？

③ 参加費とエイド等諸サービスについて

- ・参加費は適切。
- ・寒い時期の温かい饅頭・ホットレモン、それに卵パンも大変美味しかったとの意見。また最後にスイーツまでいただいて感激。
- ・山歩きは、必要なものは各自で用意すべきでエイドの必要はないと辛口の意見も。

④ その他

- ・全く全縦に初めて、コースに不案内の人もあった。全縦への参加条件としてまず半縦の経験者とすべきでは。
- ・全縦の開催条件に前日20時の天気予報が60パーセント以上の場合は翌日に延期しては。(エイドの食べ物の日持ちの関係あり)
- ・チラシの全縦・半縦両コース参加の場合の1,000円増の表示が分かりにくい。

以上アンケートのまとめ